

第4章 地域への展開

4-1 地域区分

景観形成を実際に展開していくためには、身近な生活空間の広がりの中で景観をとらえていく必要があります。そこで以下のような視点に基づいて市域を異なる特性を持つ3つの景観地域、9つの景観区域に区分しました。また、都市の景観の骨格を形成する5つの景観軸を設定しました。これらの地域区分・区域区分と景観軸のそれぞれについての特性を踏まえた景観形成の方針を以下にまとめました。

また、区域を特徴づける箇所については、おおよその位置をゾーンとして示し、それぞれに景観形成の方向を示すことにより特色ある景観形成に役立てます。

(1) 景観地域・景観区域の区分

景観的な特徴を共有する地域（景観地域）

地形的な特徴や土地利用の特徴を共有する3つの地域に区分しました。

まちづくりの方針を共有する区域（景観区域）

穂谷川、天野川、国道1号、第二京阪道路によって物理的に区分され、都市計画マスタープランで地域別構想が立案されている7区域と、都市核を形成する枚方市駅周辺、樟葉駅周辺の2区域の合計9区域に区分しました。

景観地域	景観区域
都市核景観地域	枚方市駅周辺景観区域
	樟葉駅周辺景観区域
市街地景観地域	北部景観区域
	中部景観区域
	南西部景観区域
	南部景観区域
	中南部景観区域
	中東部景観区域
山麓景観地域	東部景観区域

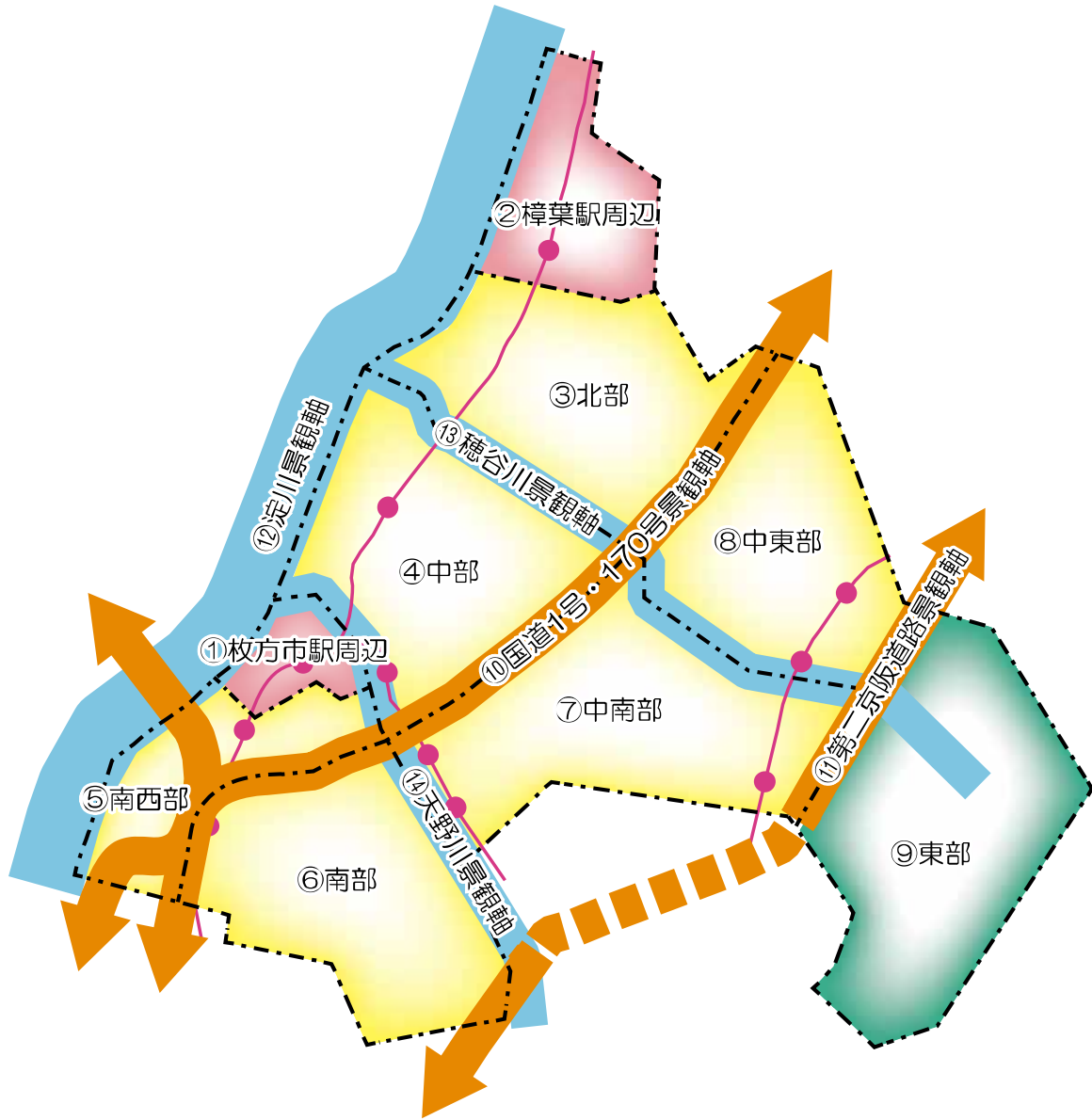
(2) 景観軸







景観の骨格となる軸線（景観軸）

面的に広がる景観地域・景観区域の境界を成し、景観の軸となる道路周辺、河川周辺の5つの景観軸を設定しました。

景観軸	
道路景観軸	国道1号・170号
	第二京阪道路
河川景観軸	淀川
	穂谷川
	天野川

枚方市の景観地域・景観区域・景観軸



景観地域	景観区域
 都市核景観地域  市街地景観地域  山麓景観地域	 景観区域界
景 観 軸	
 道路軸	 河川軸

4 - 2 区域別・景観軸別の展開

鍵屋資料館



香里ヶ丘



穂谷集落

くずはタワーシティ

(区域別)

- (1) 枚方市駅周辺景観区域
- (2) 樟葉駅周辺景観区域
- (3) 北部景観区域
- (4) 中部景観区域
- (5) 南西部景観区域
- (6) 南部景観区域
- (7) 中南部景観区域
- (8) 中東部景観区域
- (9) 東部景観区域

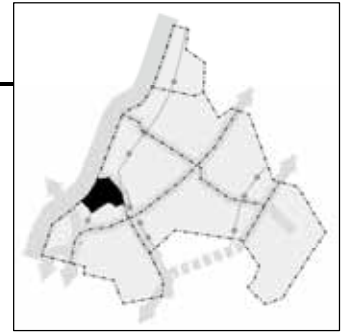
(1) 枚方市駅周辺景観区域

課題と方向性

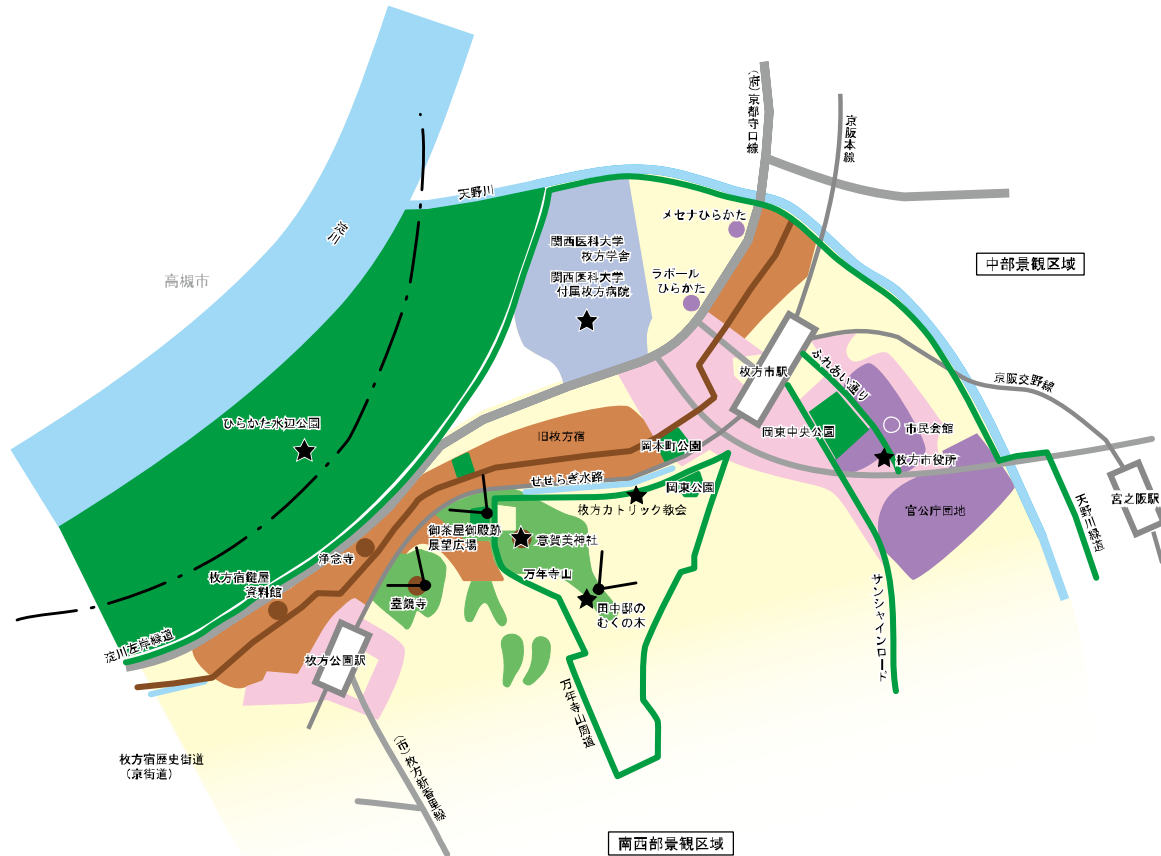
枚方市駅周辺は、枚方市の商業・業務の中心であり、電車・バスのターミナル機能の集積する枚方の顔と言える地域です。西は淀川、北は天野川、南は万年寺山に囲まれ、自然的にも歴史的にも多くの景観資源に恵まれています。

近年、枚方市駅周辺からひらかた水辺公園にかけては、駅北口の再開発が進められ、ラポールひらかた、メセナひらかたの建設、大学や病院などの立地、ひらかた水辺公園の整備、京街道に沿った旧枚方宿周辺の整備など、恵まれた立地条件を背景とした様々な事業が相次いで実施されており、この地域はこれからもさらに大きく生まれ変わろうとしています。

今後は、うるおいと風格のある都市機能の中核として、また生活に豊かさをもたらす都市文化の発信地としてふさわしい魅力的な市街地の形成を図っていきます。



枚方市駅周辺景観区域 区域現況図

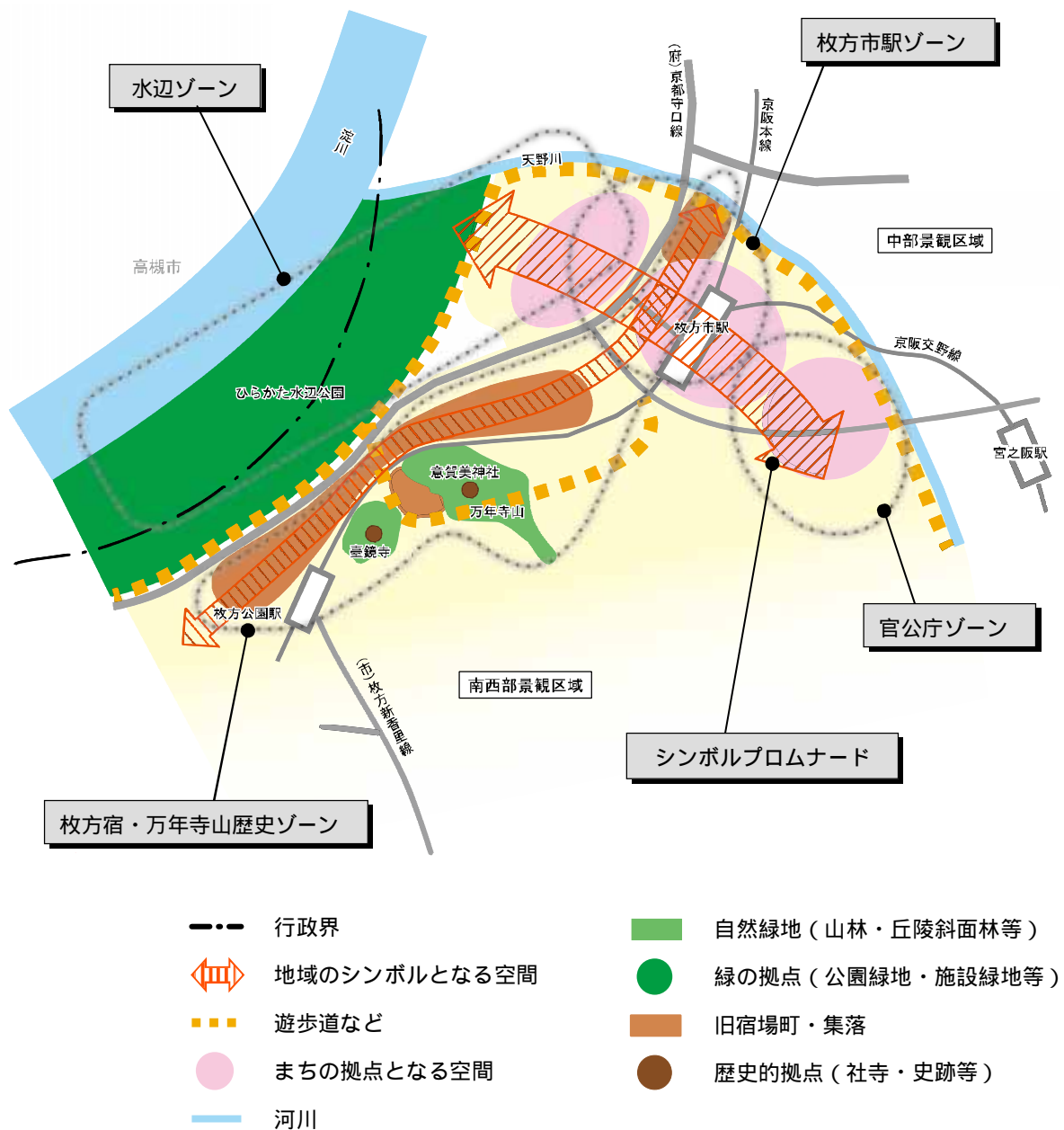


- | | | | | | |
|-----|----------|---|------------|---|---------|
| --- | 行政界 | ■ | 集落 | ■ | 商業地 |
| — | 旧街道 | ■ | 計画的住宅地 | ■ | 公共・公益施設 |
| — | 緑道、愛称道路等 | ■ | 大学、研究施設、病院 | ■ | 自然緑地 |
| — | 主な道路 | ■ | 工業地 | ◀ | 眺望点 |
| — | 主な河川・水路 | ■ | 田園地 | ★ | ランドマーク |
| ● | 主な歴史資源 | ■ | ため池 | | |
| ■ | 主な公園・緑地 | | | | |

景観形成の方針

1. 枚方市の顔としての都市的魅力と文化あふれる風格あるまちなみの形成
2. 水辺空間を活かした新しい都心景観の創造
3. 京街道、意賀美神社、万年寺山など
歴史や自然と調和した都市景観の育成

枚方市駅周辺景観区域 景観形成概念図



景観形成の方向

シンボルプロムナード

中心市街地を南北に貫く緑の軸を整備することにより、3つの異なるゾーンを結びつけ、淀川の水辺へと人を導くまちの『背骨』をつくり出します。

「シンボル性の高い道路景観の形成」

- ・ 街路樹や花を用いた緑化を推進し、道に連続性と華やかさを演出します。
- ・ 淀川方向へぬけるビスタの確保とアイストップの整備を図ります。

「シンボル空間にふさわしい沿道環境の誘導」

- ・ 沿道建築物のセットバックを促し、後退部分と歩道を一体的に整備します。
- ・ 良好なデザインの沿道建築物や屋外広告物の誘導を図ります。
- ・ シンボルプロムナードを軸とした商業や公共サービス機能の高度な集積を図ります。

「にぎわいやふれあいの拠点となる広場の活用」

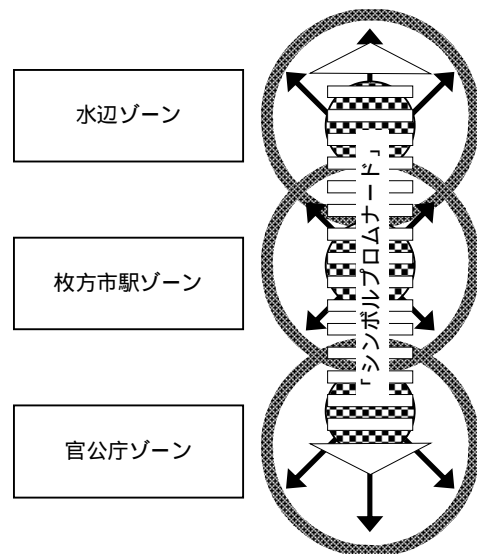
- ・ 岡東中央公園をにぎわい・ふれあい拠点として活用します。

「楽しく歩ける人にやさしい歩行空間の整備」

- ・ 人の目を楽しませる彫刻やモニュメント、ストリートファニチャーなどを設置します。
- ・ 十分な歩行者空間を確保し、高齢者や障害者にやさしい道づくりを行います。
- ・ 街角に枚方を紹介する案内板やサインの整備を行います。

【関連構想およびプロジェクト】

枚方市駅周辺整備基本構想
枚方市駅周辺再整備ビジョン
総合文化施設整備事業



広場を核とした3つのゾーンと
それらをつなげるシンボル軸

水辺ゾーン

自然に恵まれた立地性を活かしながら、淀川から府道京都守口線にかけての一角を文化性にあふれた機能的な新市街地として再整備します。

「水辺空間を活かしたまちづくり」

- ・各プロジェクトの実施に当たり、ゾーン全体のイメージに配慮しながら、それぞれの個性と魅力を持った整備を図ります。
- ・淀川へ向うシンボルプロムナードおよび川辺に沿って広場やオープンスペースを確保します。
- ・川に面した建築物のデザインを水辺景観と調和するよう配慮します。

「文化の薫る都市デザインの推進」

- ・総合文化施設の建設に際して、質の高いデザインを採用し、地域一帯の良好なまちなみの形成の推進を図ります。
- ・自然・文化の共存する、個性的な魅力を放つ都市デザインを推進します。

「計画的なまちづくりの誘導」

- ・地区計画などの制度を活用した計画的な市街地開発の誘導を図ります。

【関連構想およびプロジェクト】

淀川河川公園基本計画 / 枚方市駅周辺整備基本構想 /

枚方市駅周辺再整備ビジョン / 総合文化施設整備事業 / 街なみ環境整備事業



ひらかた水辺公園

枚方市駅ゾーン

北河内の玄関口としての利便性と、枚方の「顔」としてふさわしいにぎわいや文化性を兼ね備えた都市空間を創造するとともに、淀川や万年寺山の自然や旧枚方宿の歴史的なまちなみなど、枚方を象徴する風景へと人々を誘う起点としての景観整備を図ります。

「都市核としてのイメージの向上」

- ・文化・情報があふれ活力ある都市空間を創造します。
- ・枚方市の核としての商業、業務機能の高度な集積を図ります。
- ・文化交流活動の拠点となる施設の充実を図ります。
- ・サンシャインロードにおいて、枚方市駅へのアクセスにふさわしい印象的な街路景観の形成を図ります。

「にぎわいと風格のある市街地の形成」

- ・良好な建築デザインを誘導するとともに、景観を阻害する屋外広告物等の整理またはデザイン化を推進します。
- ・にぎわいのある夜間景観の演出に努めます。
- ・駅前広場において、淀川や万年寺山・生駒山系など枚方を代表する風景をイメージした修景を図ります。

「人を導く歩行者動線の整備」

- ・京街道の持つ歴史イメージを活用した歩行者動線の整備を図ります。
- ・中心市街地から川辺へ人を導く歩行者動線の整備を図ります。

【関連構想およびプロジェクト】

枚方市駅周辺整備基本構想

枚方市駅周辺再整備ビジョン



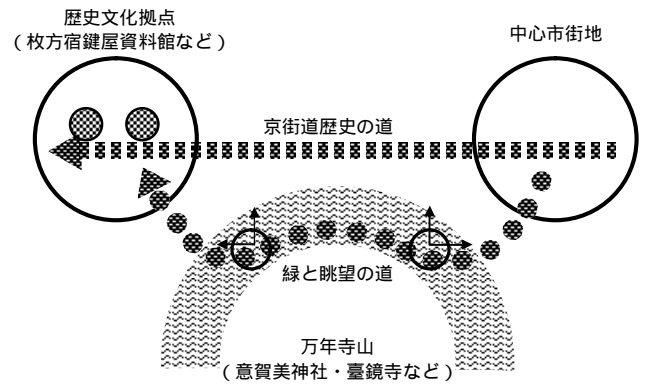
枚方市駅

枚方宿・万年寺山歴史ゾーン

枚方の歴史を代表する旧枚方宿のまちなみと、背景となる万年寺山の緑を受け継いでいくとともに、散策を楽しめる空間としての整備を図ります。

「枚方の歴史空間を巡る回遊ルートの整備」

- ・ 中心市街地から鍵屋浦、淀川へ至る 2 つのルート(京街道歴史の道・緑と眺望の道)の整備を図ります。
- ・ 意賀美神社・臺鏡寺・御茶屋御殿跡展望広場など良好な眺望の保全活用を図ります。



歴史ゾーンを巡る 2 つの道

「京街道沿いに残る歴史的たたずまいの継承」

- ・ 伝統的町家の外観の保全や歴史イメージを高める建築デザインの誘導を行います。
- ・ 街道筋に残る樹木や道標などを活かした道路整備を図ります。

「万年寺山を背景とする特色あるまちの風景の保全」

- ・ まちの背景となる万年寺山崖線の斜面を守ります。
- ・ 良好なランドマークとなっているむくの木や臺鏡寺などを保全するとともに地域のシンボルとして活用します。
- ・ 斜面に展開する住宅地内の緑化を推進するとともに、緑の稜線を守るような建築物の形態・デザインの誘導を図ります。

【関連構想およびプロジェクト】

街なみ環境整備事業



田中邸のむくの木



枚方宿鍵屋資料館

官公庁ゾーン

岡東中央公園一帯を核とする緑豊かな環境の中で、北河内の行政中枢としてふさわしいゾーン形成を行います。

「開かれた官公庁街の形成」

- ・ 岡東中央公園・ふれあい通りを中心に、公共施設や街路の緑化とオープンスペースの確保を進めることにより、うるおいのある交流空間の形成を図ります。
- ・ 美しく統一されたサインシステムにより、わかりやすいまちづくりをめざします

「公共建築物のデザイン化」

- ・ 公共建築物のデザインや配置に配慮し、親しみやすくシンボル性の高い景観形成を図ります。

【関連構想およびプロジェクト】

枚方市駅周辺整備基本構想


















枚方市駅周辺再整備ビジョン

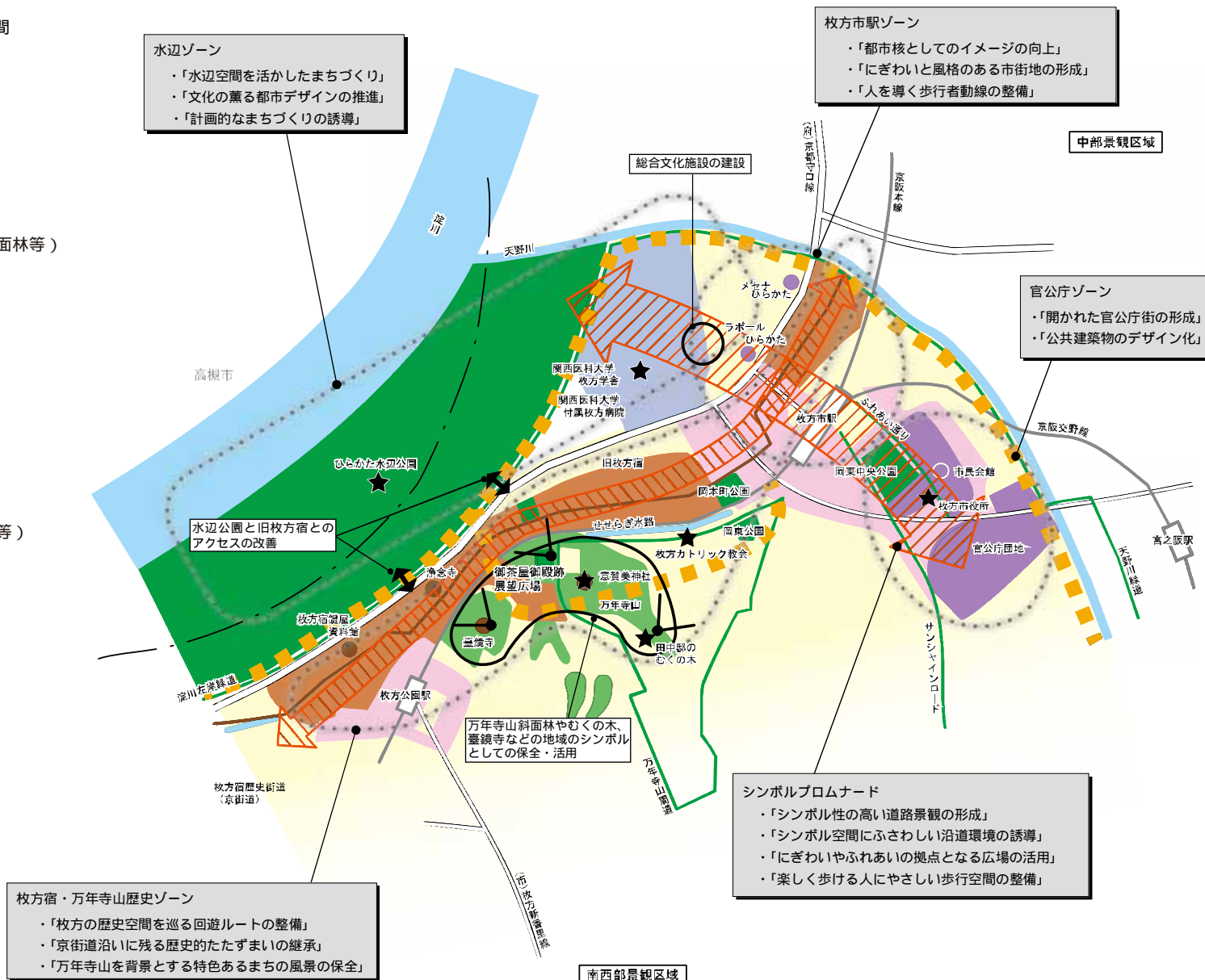
ふれあい通り



岡東中央公園

枚方市駅周辺景観区域 景観形成構想図

-  地域のシンボルとなる空間
-  行政界
-  遊歩道など
-  旧街道
-  緑道、愛称道路等
-  主な河川・水路、ため池
-  自然緑地（山林・丘陵斜面林等）
-  公園緑地
-  田園地
-  商業地
-  工業地
-  大学、研究施設、病院
-  計画的住宅
-  旧宿場町、集落
-  歴史的拠点（社寺・史跡等）
-  公共・公益施設
-  眺望点
-  ランドマーク



(2) 樟葉駅周辺景観区域

課題と方向性

樟葉駅は枚方の北の玄関口であり、駅前には北河内有数の商業施設であるくずはモールや大規模な高層マンションなどが立ち並び、周辺の計画的に開発された住宅地では、街路整備や緑化の進んだ良好な住環境を形成しています。

しかし、こうした計画的整備が進む一方で、かつての楠葉のまちを取り囲んでいた丘陵の緑はほとんど姿を消し、また生活の一部であった淀川は現在日常生活から極めて疎遠な空間となっています。

今後は、市の北の拠点にふさわしいより魅力的な商業空間を形成し、快適な生活空間としての住宅地景観を維持します。また丘陵の緑や、淀川の自然とも身近に接することのできる環境を整えます。



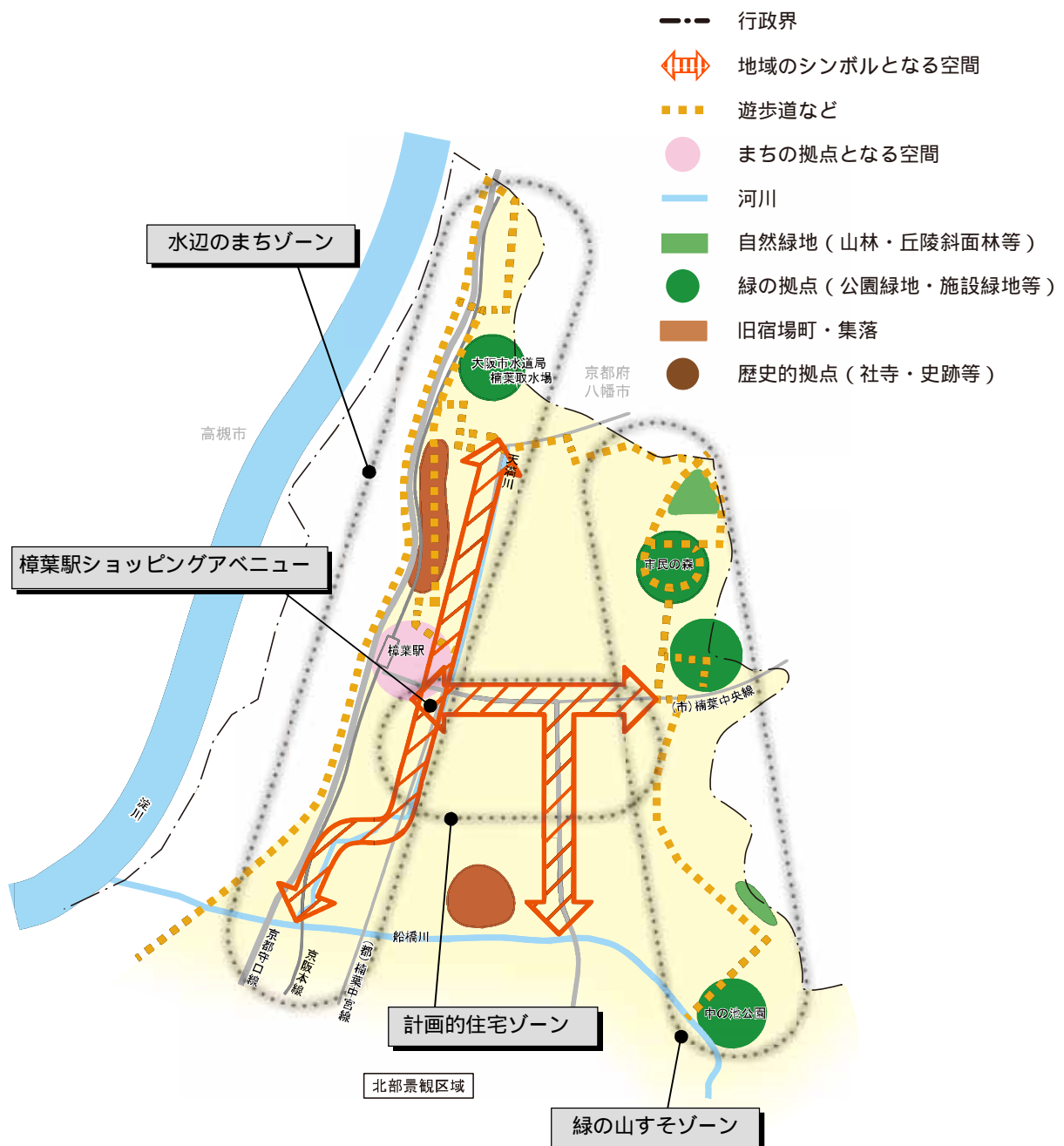
樟葉駅周辺景観区域 区域現況図



景観形成の方針

1. 楽しみのある洗練された北の拠点の形成
2. 「くずは」のもつ良好な住宅地のイメージの維持・向上
3. まちを縁どる緑の育成とネットワークの形成
4. 淀川とのつながりを持ったまちづくり

樟葉駅周辺景観区域 景観形成概念図



景観形成の方向

樟葉駅ショッピングアベニュー

樟葉駅前の大規模商業複合施設を核として、軸状に商業施設を展開することにより、魅力的な空間の創造を図ります。

「北の玄関口にふさわしい駅前空間の育成」

- ・洗練され活気ある駅前空間の整備を推進します。
- ・美しい夜間景観を演出します。

「買物をしながら楽しく歩ける空間軸の創造」

- ・人々が憩い楽しく歩ける、魅力的で景観に配慮した新たな商業ゾーンを形成します。
- ・街路沿いの建築物や広告の形態・色彩等について、洗練されたまちなみの誘導を図ります。
- ・要所には、人々が集いにぎわう空間となる辻広場やポケットパークを設けます。



樟葉駅前

計画的住宅ゾーン

基盤整備の充実した住環境を保全・育成し、ゆとりとうるおいのあるまちなみを育みます。

「『くずは』の持つ良好な住宅地のイメージの維持・向上」

- ・住宅地内の主要道路の緑化を推進するとともに、公共施設等で「花いっぱい運動」を展開し、地域のイメージの向上を図ります。
- ・景観協定・緑地協定・建築協定を活用することにより、ゆとりある住宅地景観の維持・向上を図ります。



くずはアベニュー

緑の山すそゾーン

男山の山すそに沿った市域に残る斜面林や社寺林、また山際のため池を取り入れて整備された公園の緑などを散策路によって結び、緑豊かな地域のイメージをめざします。

「さまざまな緑とふれあえる拠点の育成」

- ・交野天神社の杜や市民の森などのまとまった緑を保全し、自然とふれあえる場をつくります。
- ・取水場の緑化を推進することにより、まとまった緑のオープンスペースとして活かします。

「山すそに沿った緑の軸の整備」

- ・拠点を結ぶ街路の緑化を図るとともに、天満川緑道や鏡伝道などによる、緑のネットワークの整備を促進します。
- ・ゾーン内の公共施設(小・中学校など)の緑化を推進するとともに、宅地内の緑の充実を図ります。



市民の森

水辺のまちゾーン

かつて淀川と深い関わりを持っていた楠葉のまちの、川とのつながりの復活を図ります。

「まちから水辺へとつながる道筋の整備」

- ・楠葉のまちから淀川へ至るアクセスを確保します。
- ・天満川を活用した水辺のまちのシンボルとして、水と緑の軸を形成します。

「堤内地に広がる歴史的まちなみの保全」

- ・旧京街道に沿って残る巨木や道標、民家の石垣や生垣などを保全し、街道筋の歴史的イメージを継承します。

【関連構想およびプロジェクト】

淀川河川公園基本計画

歴史街道整備事業

楠葉台場跡保存事業

